

講演会「田沼意次を学ぶ」実施概要

1 趣旨

田沼意次侯（1719-1788）は、江戸時代中期に幕府の側用人・老中として様々な政策を実行し、田沼時代と呼ばれる大変華やかな時代を作り出した日本を代表する人物です。また、牧之原市を中心に最大で5万7千石の領地を持ち、相良城の建設や城下町の整備、殖産興業を推進し、現在の町並みの基礎を築いた郷土の偉人でもあります。

平成 30（2018）年に没後 230 年、翌 31（2019）年には生誕 300 年という記念すべき年を迎えることから、意次侯のこうした功績を顕彰し、学習できる機会をつくることが望まれます。

そこで、意次侯の研究で知られる東京大学名誉教授・藤田覚氏を招き、「田沼意次を学ぶ」と題した講演会を開催します。

2 概要

名 称 講演会「田沼意次を学ぶ」

日 時 平成 28 年 12 月 14 日（水）

19 時 00 分～21 時 00 分（18 時 30 分開場） ※講演は 1 時間程度

会 場 牧之原市史料館 2 階ホール

講 師 東京大学名誉教授 藤田 覚 氏

入場料 無料（申込不要・整理券等の配布無し）

3 講演内容

◆田沼時代とは？

田沼意次侯が政務を執った宝暦・天明期は別に田沼時代といわれ、近年は明治維新につながる様々な成長があった時代として、大変な注目を集めています（例：教科書に「宝暦・天明期の文化」が採用）。①そもそも田沼時代とはどういう時代なのか。②なぜ、そういった評価が生まれているのか。田沼時代の内容を学習します。

◆田沼意次侯の政策とは？

上記の内容を踏まえて、③田沼意次はその時代にどういった政策を行ったのか。また、④それらの政策がいかなる効果をもたらしたのか。宝暦・天明期に起こった学問や芸術・文化の発展について、政治的・社会的にどのような背景があるのかを学習します。

地域学習研修 “もっと知ろう牧之原市！！”

田沼意次を学ぶ

— 東京大学名誉教授 藤田覚 氏 講演 —



田沼意次侯肖像画（牧之原市史料館所蔵）

日 時：平成 28 年 12 月 14 日（水）
午後 19 時～21 時（18 時 30 分開場）
場 所：牧之原市史料館 2 階ホール
参 加 費：無料（参加自由・申込不要）
問 合 せ：牧之原市社会教育課（TEL 0548-53-2646）

主 催 牧之原市教育委員会